

県警幹部対象に イクボス研修会

部下の仕事と家庭の両立を支援する「イクボス」を増やし、業務向上につなげるため、石川県警は12日、県警本部で幹部を対象とした研修会「写真」を初めて開いた。ファザリング・ジャパン（東京）の川島高之理事が講師を務め、部下の私生活に配慮することの重要性を説いた。

川島氏は組織の業務向上には、部下の働きぶりを認め、私生活に寄り添うことが必要だと指摘。「寝ないで働いた部下に『次の日は十分に休めよ』と声を掛けるだけでも職場の環境は変わる」と述べた。

県警は働きやすい職場環境づくりには幹部の意識改



革が重要だととして、初開催した。50人し、河原淳平本部長らも仕事と私生活をイクボスとなる」

県警幹部 イクボス宣言 部下の私生活両立支援



イクボス宣言に署名し、働きやすい職場づくりを誓った警察幹部＝県警本部で

部下が仕事と育児などの私生活を両立できるようにと、県警本部の幹部職員が12日、同本部で「イクボス宣言」をし、働きやすい職場づくりを進めることを誓った。

河原淳平本部長と幹部8人がイクボス宣言に署名。河原本部長は「職員が持てる能力を最大限発揮できるよう、部下の仕事と私生活の両立を支援し、生き生きと働ける職場づくりに取り組む」と決意を表明した。今後はかの幹部も順次署名し、意識改革を図る。宣言の前には、父親の子

育て支援をするNPO法人「ファザリング・ジャパン」の川島高之理事による講演もあり、県警本部の幹部や各署の副署長ら計五十人が参加した。
(田中美知生)

平成 30 年 7 月 13 日 (金)

北陸中日新聞 朝刊

平成 30 年 7 月 13 日 (金) 北國新聞 朝刊

部下の仕事と家庭の両立を支援する「イクボス」を増やし、業務向上につなげるため、県警は12日、県警本部で研修会を初めて開き、幹部50人が働きやすい職場づくり



宣誓書に署名し、業務向上に取り組むことを誓う県警幹部＝県警本部

「イクボスポリス」宣言 県警本部、初の幹部研修会

「イクボス」とされるファザリング・ジャパン（東京）の川島高之理事が講師を務めた。川島氏は業務向上には、部下の働きぶりを評価し、私生活に寄り添うことが必要だとし「寝ないで働いた部下に『次の日は十分に休めよ』と声を掛けるだけでも職場環境は変わる」と述べた。

研修会後、河原淳平県警本部長らは「自らも仕事と私生活を充実するイクボスとなる」と記された宣誓書に署名した。県警本部では毎週水曜を「ノー残業デー」、毎月10、19日を「家庭・育児の日」として定時退庁を促している。

県警幹部 イクボス宣言

本部長ら50人講師招き研修

部下の育児参加に理解の席。父親の育児支援などがある上司「イクボス」となる行つNPO法人「ファザリング・ジャパン」の川島高之理事(54)が講演し、仕事を開き、本部長ら幹部がイクボスになることを宣言した。「イクボス宣言」は、北陸地方の県警で初めて。研修会では、河原淳平本部長や各部長ら計50人が出

私生活の両立を支援し、生き生きと働ける職場づくりに取り組む」と宣言した。

県警警務課によると、県警職員は4月1日現在、2304人で、うち男性が1979人。男性職員による配偶者出産休暇の取得率は昨年、87・4%だったが、育児休暇の取得者は3人とどまった。

平成 30 年 7 月 13 日 (金)

読売新聞 朝刊